

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】平成22年12月16日 (2010.12.16)

【公表番号】特表2010-515151(P2010-515151A)
【公表日】平成22年5月6日 (2010.5.6)
【年通号数】公開・登録公報2010-018
【出願番号】特願2009-544024(P2009-544024)
【国際特許分類】

G 0 6 F 9/445 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 9/06 6 5 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月6日 (2010.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

計算装置であって、
記憶装置に接続するように構成されたインターフェイスと、
プロセッサであって、

前記記憶装置が前記計算装置に結合される時に前記記憶装置に格納されている複数の
コンフィギュレーション命令に関連付けられている複数のコンフィギュレーションのうち
からコンフィギュレーションを選択し、

前記コンフィギュレーションに関連付けられているコンフィギュレーション命令を前
記記憶装置から取り出し、

前記計算装置に格納されている複数のプログラムアプリケーションのうちの 1 つを起
動し、前記起動されているプログラムアプリケーションは前記コンフィギュレーション命
令に関連付けられ、かつ

前記コンフィギュレーション命令を前記プログラムアプリケーションに送るように操作
可能なプロセッサと、
を備える計算装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の計算装置において、

前記コンフィギュレーションは、前記計算装置に格納されている情報に基づいて選択さ
れる計算装置。

【請求項 3】

請求項 2 記載の計算装置において、

前記情報は、ディスプレイのスクリーンサイズである計算装置。

【請求項 4】

請求項 1 記載の計算装置において、

前記計算装置は、携帯電話である計算装置。

【請求項 5】

請求項 1 記載の計算装置において、

前記コンフィギュレーション命令は、前記プログラムアプリケーションに関連付けられ
たパラメータである計算装置。

【請求項 6】

請求項 1 記載の計算装置において、
前記コンフィギュレーション命令は、前記プログラムアプリケーションに関連付けられたコマンドである計算装置。

【請求項 7】

請求項 1 記載の計算装置において、
前記コンフィギュレーション命令はコンフィギュレーションファイルに格納され、前記コンフィギュレーションファイルは前記コンフィギュレーションに関連付けられる計算装置。

【請求項 8】

請求項 1 記載の計算装置において、
前記記憶装置は、前記複数のコンフィギュレーションに関連付けられている複数のコンフィギュレーション命令を記憶するように構成される計算装置。

【請求項 9】

請求項 1 記載の計算装置において、
前記プログラムアプリケーションは、前記記憶装置が前記計算装置に結合された後に起動される計算装置。

【請求項 10】

プログラムアプリケーションを起動するための方法であって、
計算装置で実行するステップであって、

記憶装置が前記計算装置に結合される時に前記記憶装置に格納されている複数のコンフィギュレーション命令に関連付けられている複数のコンフィギュレーションのうちからコンフィギュレーションを選択するステップと、

前記コンフィギュレーションに関連付けられているコンフィギュレーション命令を前記記憶装置から取り出すステップと、

前記計算装置に格納されている複数のプログラムアプリケーションのうちの 1 つを起動するステップであって、前記起動されているプログラムアプリケーションは前記コンフィギュレーション命令に関連付けられるようにした起動するステップと、

前記コンフィギュレーション命令を前記プログラムアプリケーションに送るステップと、を計算装置で実行するステップを含む方法。

【請求項 11】

請求項 10 記載の方法において、

前記コンフィギュレーションは、前記計算装置に関連付けられている情報に基づいて選択される方法。

【請求項 12】

請求項 10 記載の方法において、

前記情報は、前記計算装置においてホストされる 1 つのタイプのオペレーティングシステムである方法。

【請求項 13】

請求項 10 記載の方法において、

前記コンフィギュレーション命令は、前記プログラムアプリケーションに関連付けられたパラメータである方法。

【請求項 14】

請求項 10 記載の方法において、

前記コンフィギュレーション命令は、前記プログラムアプリケーションに関連付けられたコマンドである方法。

【請求項 15】

請求項 10 記載の方法において、

前記コンフィギュレーション命令はコンフィギュレーションファイルに格納され、前記コンフィギュレーションファイルは前記コンフィギュレーションに関連付けられる方法。

【請求項 16】

請求項 10 記載の方法において、

前記プログラムアプリケーションは、前記記憶装置が前記計算装置に結合された後に起動される方法。

【請求項 17】

プログラムアプリケーションを起動するための方法であって、

計算装置で実行するステップであって、

記憶装置が前記計算装置に取り外し可能に結合されることを示すメッセージを受け取るステップと、

前記記憶装置に格納されている複数のコンフィギュレーション命令に関連付けられている複数のコンフィギュレーションのうちからコンフィギュレーションを選択するステップと、

前記複数のコンフィギュレーション命令のうちから、前記選択されたコンフィギュレーションに関連付けられている 1 つ以上のコンフィギュレーション命令を取り出すステップと、

前記コンフィギュレーションに関連付けられている前記 1 つ以上のコンフィギュレーション命令のうちからのコンフィギュレーション命令のセクションを受け取るステップと、

前記計算装置に格納されている複数のプログラムアプリケーションのうちの 1 つを起動するステップであって、前記起動されているプログラムアプリケーションは前記コンフィギュレーション命令に関連付けられるようにした起動するステップと、

前記選択されたコンフィギュレーション命令を前記プログラムアプリケーションに送るステップと、を計算装置で実行するステップを含む方法。

【請求項 18】

請求項 17 記載の方法において、

前記コンフィギュレーション命令はメニューから選択され、前記メニューは前記コンフィギュレーションに関連付けられている前記 1 つ以上のコンフィギュレーション命令を選択するために表示するように構成される方法。

【請求項 19】

請求項 17 記載の方法において、

前記コンフィギュレーションは、前記計算装置に関連付けられている情報に基づいて選択される方法。

【請求項 20】

請求項 17 記載の方法において、

前記コンフィギュレーション命令は、前記プログラムアプリケーションに関連付けられたパラメータである方法。

【請求項 21】

請求項 17 記載の方法において、

前記コンフィギュレーション命令は、前記プログラムアプリケーションに関連付けられたコマンドである方法。

【請求項 22】

請求項 17 記載の方法において、

前記コンフィギュレーションに関連付けられている前記 1 つ以上のコンフィギュレーション命令はコンフィギュレーションファイルに格納され、前記コンフィギュレーションファイルは前記コンフィギュレーションに関連付けられる方法。

【請求項 23】

請求項 17 記載の方法において、

前記コンフィギュレーション命令は、前記プログラムアプリケーションがテキストを表示することを可能にするように構成される方法。

【請求項 24】

プログラムアプリケーションを起動するための方法であって、
計算装置で実行するステップであって、

記憶装置が前記計算装置に結合されることを示すメッセージを受け取るステップと、
前記計算装置から情報を受け取るステップと、

前記情報に基づいて前記記憶装置に格納されている複数のコンフィギュレーション命令に関連付けられている複数のコンフィギュレーションのうちからコンフィギュレーションを選択するステップと、

前記記憶装置から前記コンフィギュレーションに関連付けられている 1 つ以上のコンフィギュレーション命令を取り出すステップと、

前記 1 つ以上のコンフィギュレーション命令のうちからのコンフィギュレーション命令のセレクションを受け取るステップと、

複数のプログラムアプリケーションのうちの 1 つを前記コンフィギュレーション命令に関連付けるステップと、

前記コンフィギュレーション命令に関連付けられている前記プログラムアプリケーションを起動するステップと、

前記コンフィギュレーション命令を前記プログラムアプリケーションに送るステップと、
を計算装置で実行するステップを含む方法。

【請求項 25】

請求項 24 記載の方法において、

前記コンフィギュレーション命令はメニューから選択され、前記メニューは前記コンフィギュレーションに関連付けられている前記 1 つ以上のコンフィギュレーション命令を選択するために表示するように構成される方法。

【請求項 26】

請求項 24 記載の方法において、

前記複数のコンフィギュレーション命令は複数のコンフィギュレーションファイルに格納され、前記複数のコンフィギュレーションファイルの各々はそれぞれ異なるコンフィギュレーションに関連付けられる方法。

【請求項 27】

請求項 24 記載の方法において、

前記プログラムアプリケーションは、前記第 1 の記憶装置が前記計算装置に結合された後に起動される方法。

【請求項 28】

請求項 24 記載の方法において、

前記メッセージは、前記計算装置においてホストされるオペレーティングシステムから送られる方法。